キャラクター名
稿色　陽（わらいろ　よう→わらうよろい）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ バロール	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	鎧
オプショナル		年齢	不詳	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	技術畑	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	3	1	0			4
社会	1	0	0			1

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：鎧甲冑	1		芸術：			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンヴィークル		0		13		装甲13　行動-3　全力300
フォールンシールド		0	8	2		ガード値+5　侵蝕値+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
秘密兵器	P	N		
強化外骨格「雪華」	P　信頼	N　依存		
後方勤務の彼	P　感服	N　不安		
千城寺薫	P 連帯感	N　隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
マグネット・フォース	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリング							
斥力障壁	4	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果：	ダメージ-1D+Lv×3							
磁力結界	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+LvD							
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	-	自動	-	
効果：	範囲攻撃を単体に							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	判定を阻害　シナリオ1回							
人間発電機	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果：	電力供給							
ディメンジョン・ゲート	★	3	メジャー	至近	-	自動	-	
効果：	やってきます							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

死地、死線。そういったものを幾度もくぐり抜けてきたものを、世間では歴戦の戦士というのだろう。
実際、FHとの衝突によって命を落とすエージェントもいれば、心や体を壊され再起不能に陥るエージェントも多い。
そんな、周囲のエージェントたちが次々と落伍していく中、俺はふと思う時がある。

――何故、戦わなければならないのだろうか。

理由はいろいろあるだろう。命令されるから。大切な人を守るため。復讐に突き動かされて。
どんな理由であれ、そういった理由を強く持つものほど、戦場では生き残り歴戦の戦士と呼ばれるようになる。
では、俺は？　俺は何故戦うのか？
……それは、怖いからだ。
命令をこなせなかったとき、敵に負けてしまったとき、戦えないと思われてしまったとき。
果たして、俺に存在意義は残るのだろうか？　使えないやつだと、捨てられてしまうのではないか？
そんな卑屈で、ひどく矮小な考えがどうしても頭をよぎってしまう。

――戦場で生き残るのは、強者か臆病者だけだ。

そんな、どこかで聞いたフレーズを思い出す。
嗚呼、そうだとも。いった人間は、全くもって的を射ている。
こんな俺が生き残れているのは、臆病者だからに違いない。
盾と鎧の奥底に自分をしまい込み、脅威が過ぎ去るのを祈り続ける卑怯者だからにほかならない。
だけど、それに気づかれてしまったら。それを見抜かれてしまったら。
それすらも怖くて、だから俺は俺じゃない皮を上から被るんだ。